

科目分類	看護専門科目 応用看護	開講時期	4年	前期		
科目名	救急看護学実習					
選択/必修	選択必修	単位数(時間数)	2単位	90時間	授業形態	実習
担当教員	河合 正成 ・ 池原 弘展 ・ 山崎 加代子					
メールアドレス	m-kawaai@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	実習前後・随時			

授業目的	急病、外傷など、突然健康を害した患者への看護について理解を深める。 クリティカル状態にある患者の看護について理解を深める。
授業概要	急病や外傷などで救急外来を受診された患者とその家族に必要な看護を、 看護師とともに関わりながら学ぶ。 HCU等で集中治療を受けている患者の看護については、臨床指導者の下でク リティカルケアの実践を学ぶ。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 突然の事故や急病で救急外来を受診された患者、家族に関わり、初療時の看護について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医師・看護師の指示のもと、問診・観察・検査・処置などに参加しながら、患者にとってのそれらの目的、重要性、看護の役割について学ぶ。 2) 患者、家族の心理状態にも関心を向け、救急患者のメンタルケアの重要性を学ぶ。 3) 主訴や事故の状況から、予測される病態や診断へのアプローチの特殊性を学ぶ。 2. 生命が脅かされている、またはその危険性があり、HCUに収容された患者、家族に関わり、クリティカルケア看護について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者に関する情報を、身体、こころ、社会関係、時の流れの4視点で整理し、患者の全体像を把握する。 2) 患者の身体状態を、主要機能の面から把握し、アセスメントする。 3) 患者になされている治療の意味を理解する。 4) 患者の苦痛を推測、緩和に努める。また、患者のニーズの把握に努め、必要なケアを行う。 5) 患者の家族にも関心を寄せ、必要なケアを行う。
教材 参考文献等	救急看護学で使用した教科書および参考書を用いる。

成績評価 基準・方法	実習目的の達成度、実習への取り組む姿勢や態度から総合的に評価する。
履修要件	成人急性看護学・救急看護学・災害看護学の単位を修得していること。
留意事項 その他	特になし
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての超急性期にある患者の看護の経験を活かして、救急看護に必要な看護実践を身につけるための実習指導を行う。